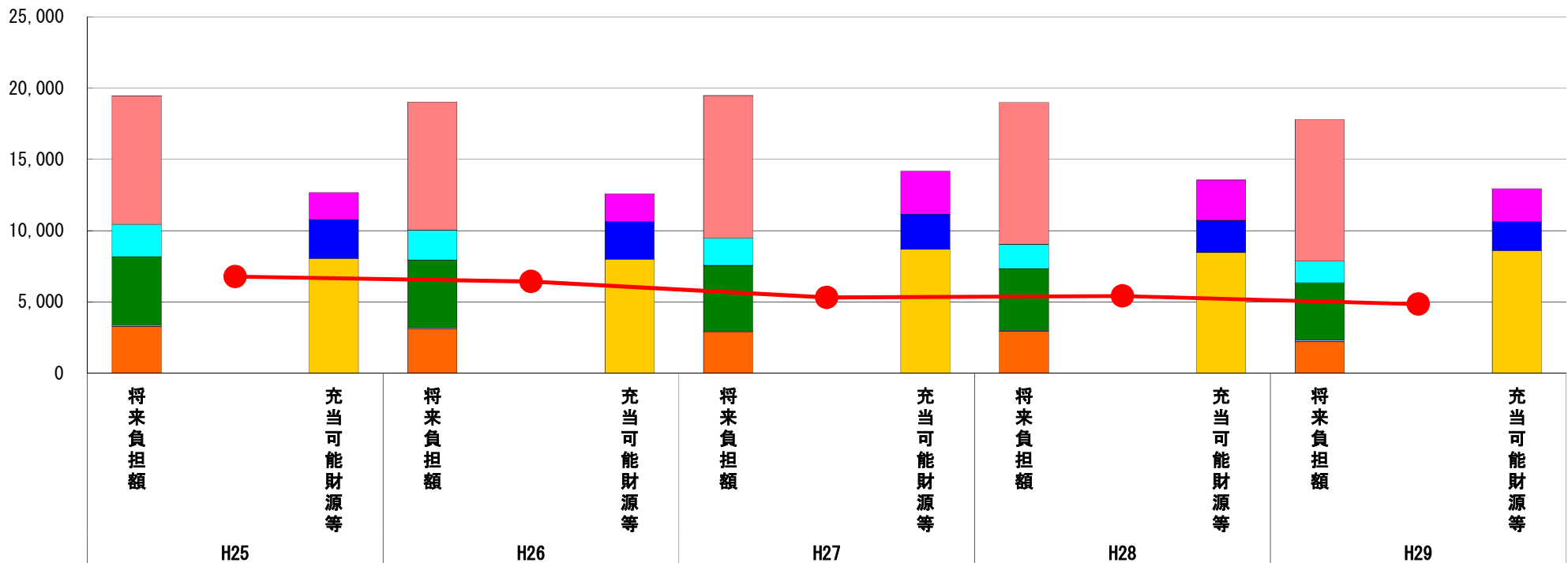


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成29年度

北海道芦別市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H25	H26	H27	H28	H29
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		9,002	8,998	10,014	9,937	9,925
	債務負担行為に基づく支出予定額		2,266	2,086	1,898	1,711	1,526
	公営企業債等繰入見込額		4,802	4,748	4,604	4,315	4,014
	組合等負担等見込額		88	66	47	79	111
	退職手当負担見込額		3,299	3,128	2,924	2,942	2,223
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-	
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,891	1,942	3,003	2,833	2,296
	充当可能特定歳入		2,746	2,661	2,476	2,252	2,054
	基準財政需要額算入見込額		8,040	7,986	8,692	8,477	8,596
(A) - (B)	将来負担比率の分子		6,778	6,436	5,315	5,421	4,853

分析欄

過去からの起債の抑制により、各会計における比率は年々改善し、将来負担比率の分子が減少してきている。しかし、将来負担比率は依然として高い数値となっているため、今後とも緊急度や住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、将来にわたり持続可能な財政基盤を構築できるよう努める。

※平成30年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。